

## 縄文時代における屋外土器埋設遺構の研究

東京大学大学院人文社会系研究科考古学専門分野修士課程 太田圭

### 1. はじめに

▽土器埋設遺構とは？

- ▶呼称：「土器埋設遺構」に統一、出土地点による呼び分け（山田 2007・古澤 2012 に準拠）
- ▶定義：原則として1 個体の土器を意図的に埋設した遺構。埋設土器の最大径の 2 倍以上の直径の土坑から出土する土器、墓坑の副葬土器や集中した土器片は除外する。

### 2. 研究略史

▽土器埋設遺構の研究＝屋内土器埋設遺構中心の研究

▽土器埋設遺構研究の段階

- I. 「埋甕」の発見と用途推定 … 1950～1970 年代
- II a. 属性分析の蓄積と民族学の援用（幼児埋葬説定着）
  - b. 埋設行為の背景の考察 … 1980 年代
- III. 集落論的考察・他要素との関連の考察と客観的な分析 … 1990 年代～

▽これまでの研究の課題

- ①決定的な証拠がない
- ②機能を「子どもの埋葬」に固定化
- ③用途追究の研究史
- ④客観的分析の不足

### 3. 研究の方法と目的

土器埋設遺構の基準設定、土器埋設遺構の集成項目の設定、土器埋設遺構の利用

### 4. 対象とする時期と地域

▽対象時期（表 1 参照）…統一した時間軸を設定する。

▽対象地域（表 2、図 1～4 参照）

### 5. 分析結果

▽土器埋設遺構の動向

土器埋設遺構は対象地域において、中期後葉 4 期にピークをむかえる。

▽一般的埋設属性（定量的分析の結果）

埋設姿勢：正位
埋設部位：胴上半
打ち欠き部位：胴下半
底部および他部位への穿孔：なし
器種：深鉢形土器
法量：器高・最大径ともに 10－30cm に集中

▽出土位置からみる土器埋設遺構の一側面

- ・水場遺構と土器埋設遺構（古澤 2012）
- ・単独出土と群集出土（渡辺 1970、佐々木 1984）
- ・「指標」となる土器埋設遺構（水沢 2000、後藤 2009、立田 2014）

▽時期別にみる出土位置タイプ—「指標」機能からみる集落内空間構造の確立

①住居域への埋設

全時期を通して主体、時期が新しくなるにつれ、他の出土位置から住居域埋設にシフト。

②住居集中域外埋設

中期までは主体であったが、後期に入ると急減する。

⇒環状集落と関連が強く、中央広場や住居域の縁辺部・中央広場に埋設される。後期における集落立地の変化や前期後半以来の場所に対する長期間にわたる利用意識の低下により、減少した可能性。

③住居域外埋設（配石・土坑がともなう）

いずれの時期にも継続して存在し、露出属性をもつものが一定数存在する。

⇒住居域外における特定の場の形成を示し、「指標」として存在したり、集落内における特定の空間（例えば墓域・祭祀域）を区画・形成したりしていた可能性。

④遺物集中区に埋設されるものがある。

住居域埋設とともに中期後半から増加すし、半数が群集出土するタイプ。—従来「送り」行為が推定。

⇒集落内の屋外土器埋設遺構から読み取れる区画機能が中期後葉に出現・発達し、後期には明確化したか。集落内の特定位置の占有という意味で屋外土器埋設遺構の群集出土タイプを捉えることが可能となる。

## 6. 課題と展望

▽注目すべき属性（課題）

- ・場と土器埋設遺構—出土位置と埋設属性
  - ・露出属性
  - ・横位埋設土器
  - ・住居址覆土埋設土器
- } （後藤 2009）

▽これからの研究（展望）

- ・土器型式にもとづく文化圏と土器埋設遺構
- ・定量的な分析と定性的な分析

《主要参考文献》

参考文献リスト：34、35、39、42、43、58、81、85、86

後藤信祐 2009 「栃木県における縄文中期後半～後期前半の「埋甕」の諸相」『野洲考古学論

- 攷一中村紀男先生追悼論集一』 pp.171-192 (リスト 89)
- 佐々木藤雄 1984 「5 屋外単独埋甕と共同祭祀」『帷子峯遺跡』 pp.366-367 (リスト 59)
- 立田 理 2014 「北海道の埋設土器・埋設遺構集成」『北日本縄文時代埋設土器・埋設遺構集成』 pp.9-142
- 古澤妥史 2012 「胴下半を欠く埋設土器について一」『新潟考古』 23 pp.19-36 (リスト 93)
- 水沢教子 2000 「居住空間と居住外空間の境界」『更埴条里遺跡・屋代遺跡群 (含む大境遺跡・窪河原遺跡) 一縄文時代編一』 pp.340-341 (リスト 75)
- 渡辺 誠 1970 「縄文時代における埋甕風習」『考古学ジャーナル』 40 pp.9-17 (リスト 25)

表 1. 土器型式による時期区分

時期区分		中部高地	関東地方	東北地方南部		
中期前半	~ 中期中葉	~ 中期中葉	籠畑I以前	十三菩提以前	大木6以前	
		中期前葉	前葉1期	籠畑II・梨久保	五領ヶ台I	大木7a
			前葉2期	九兵衛尾根I	五領ヶ台II	
			前葉3期			
			前葉4期	九兵衛尾根II		
	前葉5期					
	中期中葉	中葉1期	猪沢	神谷原	大木7b	
		中葉2期	新道	勝坂I		
		中葉3期	藤内	勝坂II		
		中葉4期	井戸尻I・II	勝坂III		
中葉5期		井戸尻III				
中期後半	中期後葉	後葉1期	曾利I	加曾利E1	大木8a	
		後葉2期	曾利II	加曾利E2		
		後葉3期	曾利III			
		後葉4期	曾利IV	加曾利E3		
		後葉5期	曾利V	加曾利E4		
後期前半	後期初頭	後期初頭	称名寺I	綱取I・門前		
	後期前葉	前葉1期	称名寺II			
		前葉2期	堀之内I		綱取II・宮戸I b	
		前葉3期	堀之内II			
後期後半	後期中葉	中葉1期	加曾利B1	宮戸IIa・II b		
		中葉2期	加曾利B2			
		中葉3期	加曾利B3			
	後期後葉	後葉1期	曾谷	瘡付I		
		後葉2期	安行1	瘡付II		
		後葉3期	安行2	瘡付III・IV		

表 2. 分析対象遺跡リスト

遺跡№	遺跡名		
1	大月	25	人見西中原
2	塩瀬下原	26	田篠中原
3	中谷	27	横壁中村
4	桂野	28	上中丸
5	上コブケ	29	川尻中村
6	甲ッ原	30	当麻第3地点
7	酒呑場	31	山ノ神
8	塩川	32	池端・金山
9	鴨田	33	御組長屋第II地点
10	新水掛	34	神戸・上宿
11	長峯	35	下北原
12	聖石	36	沼目・坂戸第II地点
13	屋代遺跡群	37	水神
14	郷土	38	平沢同明
15	辻沢南	39	赤田地区遺跡群№15
16	丸山南	40	赤田地区遺跡群№17
17	中郷	41	華蔵台南
18	大下原	42	E5
19	砂押原	43	川和向原
20	天神原	44	篠原大原北
21	中野谷松原	45	二ノ丸
22	人見枝谷津	46	№6
23	人見東原II	47	帷子峯
24	人見東向原	48	川島町西原

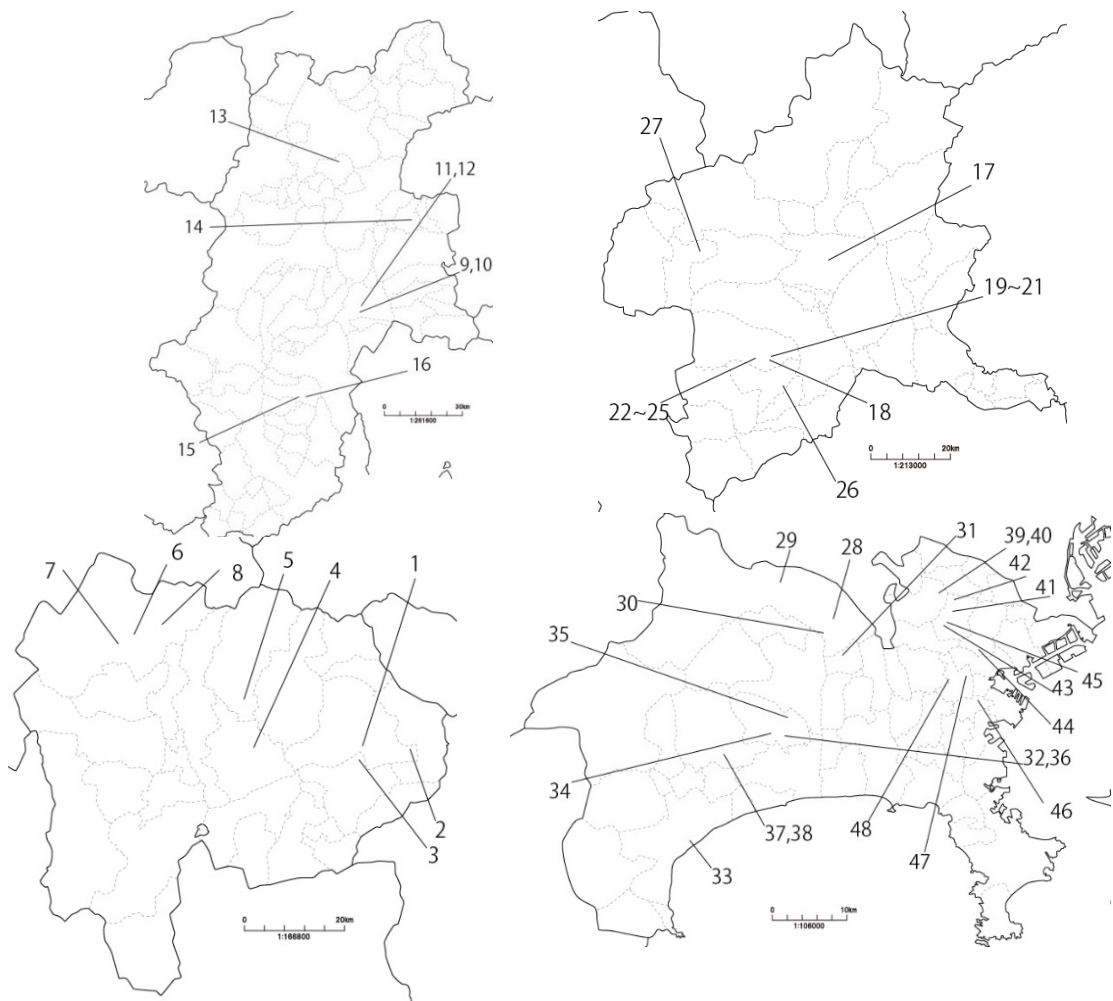


図1. 中部高地（上段左：長野県、中：山梨県域）、群馬県域（上段右）、神奈川県域（下段）

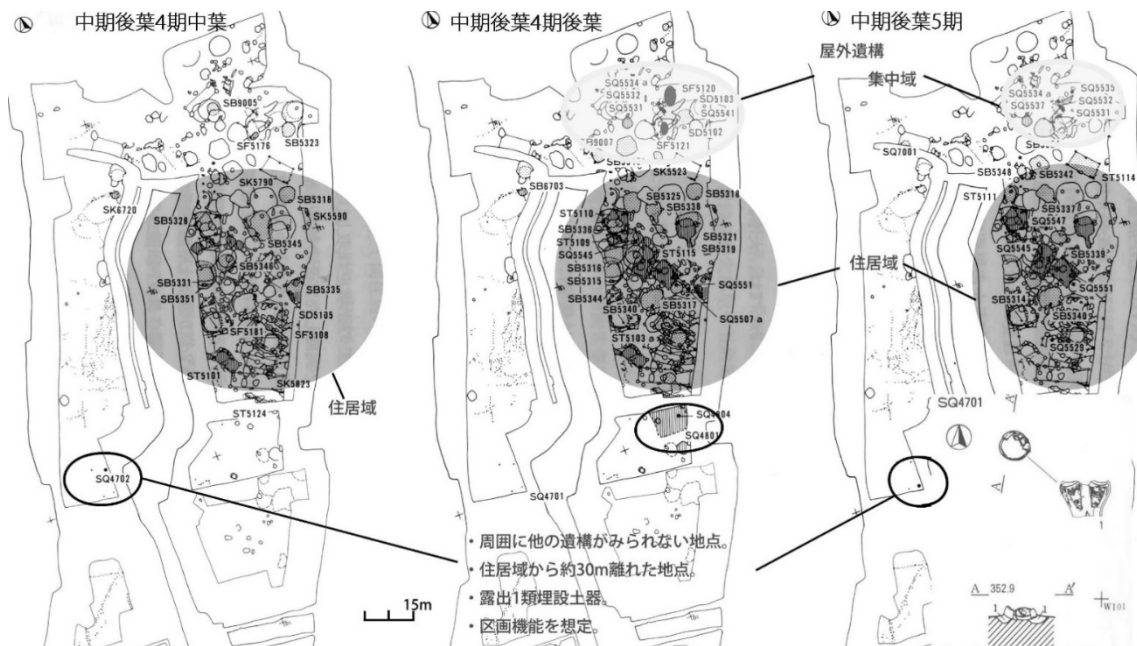


図4. 千曲市屋代遺跡群中期後葉4～5期における遺構変遷図

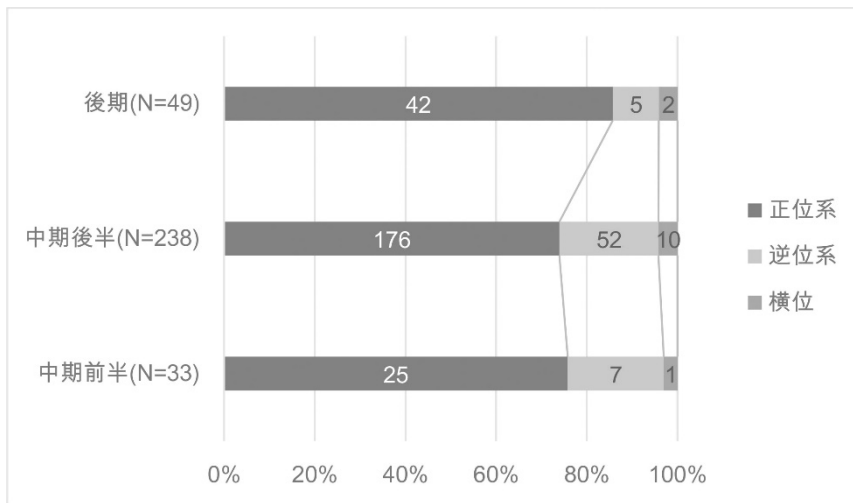


図5. 時期別にみた埋設姿勢の割合

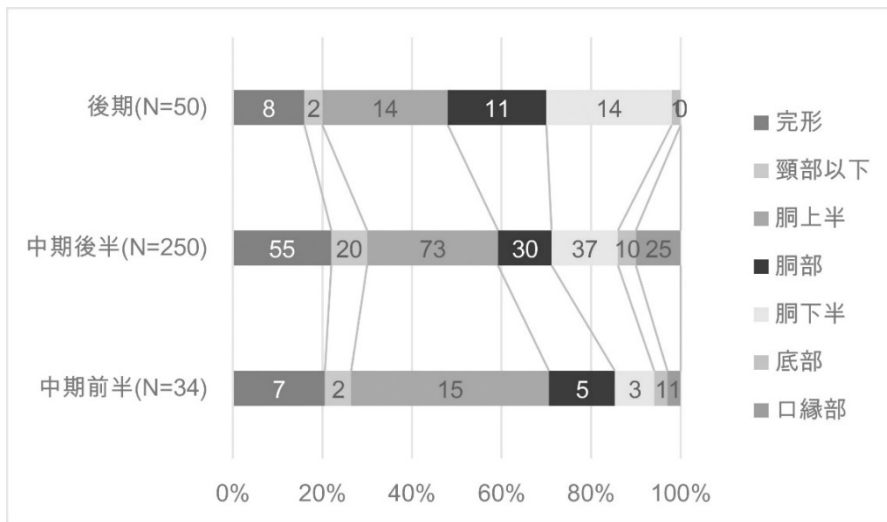


図7. 時期別にみた埋設部位の割合

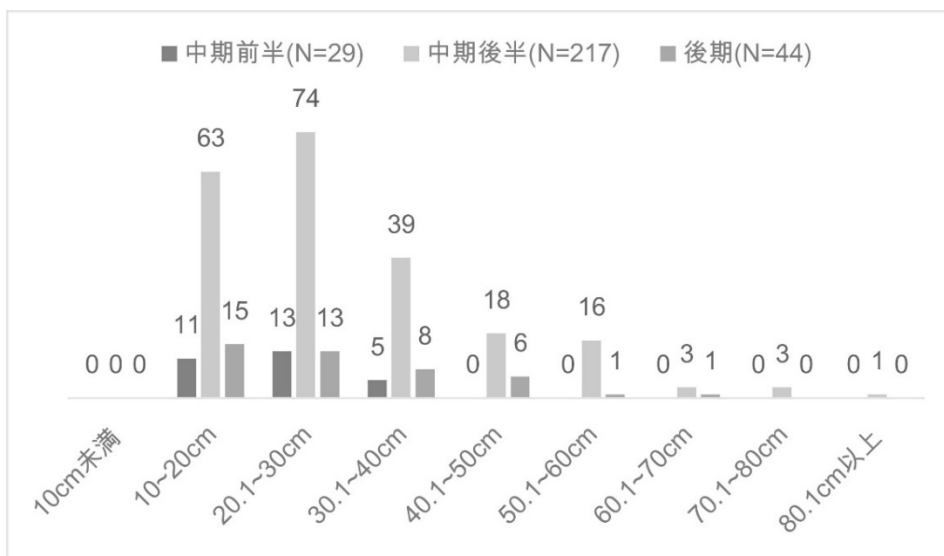


図8. 時期別にみた法量分布

縄文時代における東日本の土器埋設遺構研究・主要参考文献(年代順)

No	著者氏名	刊行年	論文タイトル	誌名	巻一号	ページ	発行者
1	長谷部言人	1927	石器時代の死産見埋葬	人類学雑誌	42-8	309-315	
2	八幡一郎	1932		下総焼山に於ける石器時代遺跡			東京帝国大学理学部人類学教室
3	宮坂英式	1950	八ヶ岳西山麓與助尾根先史聚落の形成についての一考察(上)	考古学雑誌	36-3	167-178	
4	宮坂英式	1950	八ヶ岳西山麓與助尾根先史聚落の形成についての一考察(下)	考古学雑誌	36-4	257-261	
5	上川名昭博	1951	第二次調査の状況	信濃	3-2-3-3	14-41	
6	坂詰秀一	1958	縄文文化における壘積墓の基礎的研究	立正大学文学部論叢	9	88-109	
7	坂詰秀一	1960	縄文後期ノ内壘積小考-共同体相互間の有機的関連性試論	古代学研究	23	25-26	
8	桐原健	1964	南信、八ヶ岳山麓における縄文中期の集落構造	古代学研究	35	1-7	
9	宮坂光昭	1965	縄文中期勝坂と加賀利に於ける貯蔵器の変遷から観て-	古代	44	25-31	
10	宮坂光昭	1965	縄文中期における宗教的遺物の推移	信濃	17-5	46-56	
11	武藤雄六	1965	長野県諏訪郡富士見町大畑遺跡第三次調査報告	長野県考古学会誌	3	39-56	
12	渡辺誠	1965	縄文時代における原始農耕の展開と埋葬観念の変質	富士国立公園博物館研究報告	14	5-17	
13	桐原健	1967	縄文中期に見られる埋葬の性格について	古代文化	18-3	43-51	
14	村上俊嗣	1967	松戸市殿平賀貝塚調査報告	考古学雑誌	52-4	56-70	
15	江坂輝弥	1968	縄文文化後期における改葬壘積墓の研究	北奥古代文化	創刊号	3-7	
16	宮坂光昭	1968	非生産用具の種類と性格	海戸第二次調査報告書		95-101	長野県考古学協会
17	渡辺誠	1968	埋葬考	信濃	20-4	264-268	
18	渡辺誠	1968	埋葬考(続)	古代文化	20-7	152-156	
19	武藤雄六・宮坂光昭	1968	長野県諏訪郡富士見町戸原遺跡第二次調査概報	信濃	20-10	49-66	
20	賀川光夫	1969	縄文時代の壘積(1)~(3)	考古学ジャーナル	34,35,36	9-5,11-16,8-15	
21	水野正好	1969	縄文時代集落後元への基礎的操作	古代文化	21-3,21-4	1-21	
22	武藤雄六	1969	原始絵画のある縄文土器	考古学ジャーナル	28	17-19	
23	藤森栄一	1969	縄文中期文化-中部日本	考古学講座	3	141-159	雄山閣
24	木下忠	1970	戸口に胎盤を埋める呪術	考古学ジャーナル	42	12-19	
25	渡辺誠	1970	縄文時代における埋葬風習	考古学ジャーナル	40	9-17	
26	藤森栄一	1970	質疑欄 埋葬について	長野県考古学会誌	8	52	
27	中村直人	1970	小県郡丸子町開戸遺跡出土の埋葬	長野県考古学会誌	9	30-31	
28	佐藤攻	1971	茅野和田遺跡東地区の埋葬	長野県考古学会誌	11	43-50	
29	高林重水	1971	高河原遺跡発見の埋葬のカッティング所見	長野県考古学会誌	11	52-53	
30	宮坂光昭	1971	茅野和田遺跡における縄文中期集落址の分析	長野県考古学会誌	11	25-34	
★31	猪越公子	1973	縄文時代の住居址内埋葬について	下総考古学	5	23-55	
★32	神村透	1973	南信地方の埋葬について	長野県考古学会誌	15	19-40	
33	桐原健	1973	仮器の系譜-底部穿孔土器の性格-	古代文化	25-12	391-402	
34	長崎元広	1973	八ヶ岳南麓の縄文中期集落における共同祭祀のありかたとその意義(上)	信濃	25-4	292-312	
35	長崎元広	1973	八ヶ岳南麓の縄文中期集落における共同祭祀のありかたとその意義(下)	信濃	25-5	446-463	
36	江坂輝弥	1974	縄文の壘積	考古学論叢	2	1-3	別府大学考古学研究室
37	神村透	1974	埋葬と伏葬-そのちがひ-	長野県考古学会誌	19-20	17-33	
38	渡辺誠	1974	縄文時代壘積の基礎的研究	考古学論叢	2	5-14	別府大学考古学研究会
★39	佐々木藤雄	1975	埋葬論ノート	異貌	3	20-24	
40	佐藤洋	1976	縄文時代の埋葬風習	物質文化	27	13-32	
41	藤沢宗平	1976	<遺稿> 伏葬考-特に底部穿孔伏葬について-	長野県考古学会誌	27	1-5	
42	山本輝久	1977	縄文時代中期末・後期初頭期の屋外埋葬について(一)	信濃	29-11	1051-1075	
43	山本輝久	1977	縄文時代中期末・後期初頭期の屋外埋葬について(下)	信濃	29-12	1124-1140	
44	水野正好	1978	埋葬祭式の復元	信濃	30-4	256-265	
45	金井安子	1980	埋葬の一視角-中部、関東地方における土着土器と非土着土器	考古学ノート	8	29-42	武蔵野文化協会考古学部会
46	菊池実	1980	縄文時代人骨収納壘積集成(1)(2)	考古学の世界	1,2	2-15,17-23	学習院考古会
47	丹羽祐一	1980	埋葬集団の構成と婚姻システム	奈良大学紀要	9	39-62	
48	佐々木藤雄	1981	縄文時代の過婚圏	信濃	33-9	45-74	
49	小野正文	1982	底部穿孔埋葬小考	甲斐の地域史的展開		13-32	
50	渡辺誠	1982	縄文時代の壘積	考古学ジャーナル	208	5-9	
51	大竹憲治	1983	縄文時代における動物祭祀遺構に関する二つの様相	道平遺跡の研究		260-273	大熊町教育委員会
52	上川名昭	1983		中期縄文文化論			奈良明新社
53	菊池実	1983	壘積葬	縄文文化の研究	9	57-51	雄山閣
★54	桐原健	1983	埋葬	縄文文化の研究	9	248-258	雄山閣
55	佐々木藤雄	1983	縄文時代の親族構造	異貌	10	56-83	
56	渡辺一雄輔	1983		道平遺跡の研究-福島県道平における縄文時代後・晩期埋設土器群の調査-			大熊町教育委員会
57	岡本孝之	1984	縄文人の死産児	異貌	11	84-112	
★58	金子義樹	1984	縄文時代における埋葬についての一試論-事例分析を中心に-	神奈川考古	19	75-125	
59	佐々木藤雄	1984	5 屋外単独埋葬と共同祭祀	帷子峯遺跡		366-367	横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡調査会
60	川名広文	1985	柄鏡形住居址の埋葬にみる象徴性	土曜考古	10	73-95	
61	百瀬忠幸	1987	埋葬と境界性について	長野県埋蔵文化財センター年報	1	42-65	
62	山田康弘	1993	造賀川系土器使用の壘積葬の系譜とその性格について	筑波大学先史学・考古学研究	4	71-90	
63	山田康弘	1994	壘積葬の条件	史鏡	28	66-72	
64	本橋恵美子	1995	縄文時代の柄鏡形敷石住居址の発生について	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	6	47-51	
65	山本輝久	1996	柄鏡形(敷石)住居址と埋葬祭祀(上)-事例の集成-	神奈川考古	32	133-152	
66	佐々木藤雄	1997	縄文時代の土器分布圏と家族・親族・部族(上)	先史考古学論集	6	31-54	
67	山本輝久	1997	柄鏡形(敷石)住居址と埋葬祭祀(下)	神奈川考古	33	49-84	
68	阿部勝則	1998	若手県における縄文時代中期中葉の底部穿孔土器について-住居内出土事例を中心に-	紀要	27	29-36	若手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
69	佐々木藤雄	1998	縄文時代の土器分布圏と家族・親族・部族(下)	先史考古学論集	7	49-88	
70	鈴木克彦	1998	有孔筒形土器の研究-北日本の有孔土器との関連において-	時の絆		75-98	石冢喜三先生を偲ぶ本刊行会
71	成田遊彦	1998	屋内土器埋設考-青森県の事例を中心に-	史跡三内丸山遺跡年報	2	26-39	
72	末木健	1999	遺構研究 埋葬	縄文時代	1 0-3	221-226	
73	南北海道考古学情報交換会	1999		北日本の縄文時代基制 資料集			
74	佐藤雅一	2000	魚沼地方における埋葬の様相	新潟考古	11	77-94	
75	水沢教子	2000	居住空間と居住外空間の境界	更埴泉理遺跡・屋代遺跡群(含む大境遺跡・窪河原遺跡)-縄文時代編-		340-341	長野県埋蔵文化財センター

No	著者氏名	刊行年	論文タイトル	誌名	巻一号	ページ	発行者
76	葛西麗	2002		再葬土器棺墓の研究-縄文時代の洗浄骨			再葬土器棺墓の研究刊行会
77	長谷川豊	2002	縄文中期後葉の伊那谷における「伏葬」の分布について	考古学論文集 東海の路		47-66	東海の路刊行会
78	木下忠	2005		埋葬-古代の出産習俗			雄山閣
79	葛西麗	2006		続・再葬土器棺墓の研究-切断壺形土器と子供の埋葬を考える-			再葬土器棺墓の研究刊行会
80	大工原豊編	2006		ストーンサークル出現-縄文人の心、環の思想-			安中市ふるさと学習館
★ 81	山田康弘	2007	土器を埋める祭祀-屋外土器埋設遺構を中心として-	原始・古代日本の祭祀		23-41	同成社
82	吉澤宏	2007	縄文時代における底部穿孔埋葬の発生と展開-事例より見た基礎的分析を中心に-	山麓考古	20	31-84	
★ 83	阿部勝則	2008	埋葬(東北地方)	総覧縄文土器		1116-1121	アムプロモーション
84	葛西麗	2008	土器棺(東北地方)	総覧縄文土器		1092-1097	アムプロモーション
★ 85	佐々木藤雄	2008	埋葬(中部・関東)	総覧縄文土器		1122-1127	アムプロモーション
★ 86	長沢宏昌	2008	土器棺(中部・関東)	総覧縄文土器		1098-1103	アムプロモーション
87	小原一成	2009	縄文時代における土器埋設遺構研究の視座 北上川流域における縄文時代中期中葉の事例をもとに	歴史	113	1-25	東北史学会
88	滝沢規朗・野田貴文	2009	アチヤ平遺跡における炭跡の煮沸痕跡について-縄文時代中期末葉-後期前葉の埋設土器に使用された深鉢のスス・コゲ	三面川流域の考古学	7	7-22	奥三面を考える会
89	後藤信祐	2009	栃木県における縄文中期後半-後期前半の「埋葬」の諸相	野洲考古学論叢 中村紀男先生追悼論集		171-192	
90	齋藤幸雄	2010	八ヶ岳山麓の胸部穿孔埋葬	信濃	57-9	651-663	
91	中村大	2011	埋葬(うめがめ)	日本考古学事典(小型版)		62	三省堂
92	栃木県なす風土記の丘資料館編	2012		那須の縄文社会が変わるころ 縄文時代中期から後期へ			大田原市教育委員会
93	福島雅儀	2012	阿武隈川上流域における縄文中期から後期への集落変化 福島県三春町柴原A遺跡と越田和遺跡の発掘調査から	国立歴史民俗博物館研究報告	172	357-414	
94	古澤妥史	2012	胴下半を欠く埋設土器について-	新潟考古	23	19-36	
95	中村耕作	2013		縄文土器の儀礼利用と象徴操作			アムプロモーション
96	北日本縄文文化研究会	2014		北日本縄文時代埋設土器・埋設遺構集成			北日本縄文文化研究会
97	小池勝典・渡辺誠	2014	人面付小型壺を内蔵する埋葬-長野県宮田村中越2遺跡の近年の発掘例について-	古代文化			
98	鈴木克彦	2014	北日本縄文時代埋設土器・埋設遺構概説	北日本縄文時代埋設土器・埋設遺構集成		3-8	北日本縄文文化研究会
99	永瀬史人	2015	北東北における円筒土器文化の変容過程に関する考古学的研究	特別史跡三内丸山遺跡年報	18	41-56	
100	山田康弘	2015	土器棺墓(土器埋設遺構)	季刊考古学	130	56-64	
101	菊池祥宏	2016	縄文時代住居内埋設土器の展開	Archaeo-Clio	13	17-44	東京学芸大学考古学研究室

※本発表の対象地域を中心とした東日本における縄文時代中期以降の土器埋設遺構を取り扱った主要な論文・報告の一覧である。東北・北陸の論文については含まれていないものもあり、東海地方・西日本の関連論文・報告は含めていない。

※研究黎明期の報告は、遺跡報告書等の文献も一覧に含めたが、1970年代以降の報告書は含めていない。各遺跡の報告書でも屋内土器埋設遺構を中心に報告・考察は多く掲載されている。

※リスト左端枠に★がついている文献は、土器埋設遺構に関する研究史がまとめられているものである。興味のある方は参照していただきたい。